

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	図書館における生涯学習推進事業			事業番号	11-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部	大山 剛	図書館・子ども科学館	杉山 麻里	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがあるまちをつくる	
		施策	11	学習成果を生かせる生涯学習の推進	
予算事業名	図書館運営事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成30年度	～	終了年度	令和4年度
関連法令等	図書館法(昭和二十五年四月三十日法律第百十八号)、文字・活字文化振興法(平成十七年七月二十九日法律第九十一号)、子どもの読書活動の推進に関する法律(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)				
国・県の計画等	かながわ読書のススメ～神奈川県子ども読書活動推進計画		計画期間	5年更新	
関連個別計画	第2期伊勢原市教育振興基本計画、第2次伊勢原市子ども読書活動推進指針		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	図書館では、職員と共に長年読書普及活動を行ってきたボランティアがありますが、その継続の支援を行うこと、また新しく読書啓発ボランティアを育成することは、社会教育施設として市民の生涯学習の機会を増やし、生きがいや活動の場を提供することにも繋がるため、積極的に実施する必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	読書啓発ボランティアを育成・支援するとともに、ボランティア活動を通じた生涯学習や活動の場を提供することで、市民の読書活動の普及促進を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び図書館利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・ボランティア養成講座を開催するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した読書啓発ボランティア活動の研究を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	ボランティア育成・支援講座(障がい者サービス含む)	ボランティア講座開催(2回)	ボランティア講座開催(4回)		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	ボランティア人数(累計)	69名 (令和2年度)	70名	73名	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	新型コロナウイルス感染症に伴う社会状況を注視しながら、安心・安全な読書普及ボランティア活動を推進します。既存のボランティアのモチベーション維持のために、活動の支援を行うとともに、新しい生活様式に対応した読書普及活動を研究し、安心して取り組めるボランティア活動の機会を提供していきます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	ボランティア育成・支援講座(障がい者サービスマ含む)	0回	
実施した取組の内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座の実施は見送る一方、自主的な活動を支援するため、ボランティア・ルームを開設して、活動場所を提供しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度 令和4年度
	ボランティア人数(累計)	69名 (令和2年度)	71名

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	内訳	事業費合計(a)	0	千円					千円	
		国県支出金 ①	0	千円					千円	
		地方債 ②	0	千円					千円	
		その他特財 ③	0	千円					千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	0	千円					0 千円	
	国県支出金の内容									
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0	人	0	千円		人		千円
		その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
		人件費合計(b)	0	人	0	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)		0		0	千円			0	千円
	単位当たりコスト	対象数	定義	講座受講者数			単位			
			対象数	0	人					
総事業費／対象数				円					円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の開催を見送ったが、おすすめ本の展示貸出等、新しい生活様式によるボランティア活動が進展しました。また、おはなし会や朗読会等の集会型事業についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、再開することができました。このため、参加団体、人数が増加しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	おはなし会等の集会事業が再開しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	自主的な活動を下支えすることで、読書啓発ボランティア活動を継続することができています。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	ボランティア養成講座の実施を見送り、館内設備を有効活用したボランティア・ルームを開設することで、読書ボランティア活動を継続しました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	新型コロナウイルス感染症が収束に至らない状況において、ボランティア養成講座を開催する際、安全・安心に開催する方法についての検討が必要となります。
令和4年度の取組方針		ボランティア養成講座を開催するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した読書啓発ボランティア活動を推進し、市民の読書活動の普及促進を図ります。		
所管部長による総評		市民の読書活動の普及を図るためにボランティアの協力は効果的です。この2カ年、新型コロナウイルス感染症により影響を受け、計画どおりの執行ができなかったと思いますが、今後も引き続きボランティアの育成と併せて、工夫を凝らした読書活動の啓発に取り組んでください。		